

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書（実績）

提出区分		実績	整理番号	12	課題区分	B	令和7年4月28日		
横断的な課題		雪国の暮らしを支える生活基盤の維持と確保							
地域重点政策		ライフライン、生活確保のための雪対策の推進					北信地域振興局		
実施機関		北信地域振興局			担当課	所属	企画振興課		
事業名		除雪作業の安全対策普及促進事業				電話	0269-23-0201		
						E-mail	hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業概要等	目的 (目指す姿)	屋根の雪下ろしをはじめとした除雪作業における安全対策を普及し、冬期間における除雪作業に伴う事故件数の減少をめざす。							
	現状と課題	・毎年、屋根の雪下ろし作業中や除雪機による事故が発生。 ・アンカーの設置について補助金等を実施しているが、財政負担等により普及が進んでいない。 ・雪害救助員向けの講習会の開催や普及促進動画の制作、克雪住宅事例集を製作(建設事務所建築課)、雪下ろし安全対策リーフレット・ポスターを作成し、雪下ろしや除雪作業中の安全対策の普及を行ってきた。 ・今後も継続してこれらのツールを活用し、広く地域に安全対策を普及させることが必要。							
	内容 (変更後の内容)	安全対策意識の醸成と普及に重点を置き、モデル設置施設、動画、事例集等のツールを活用するとともに、域外で先進的な取組を行う者との交流の機会を創出。 (1) 講習会開催 ア 時期・回数 12月9日(月)・1回 イ テーマ ・雪下ろし時の安全対策の方法紹介等(鬼無里PRIDE PROJECT、すがかわ暮らし応援隊) ・その他、県発信情報の紹介 ウ 対象者(雪下ろしを行う者) 住宅除雪支援員 等 (2) 啓発・情報発信等 ア その他の啓発(ゼロ予算) ・雪下ろし安全対策動画・リーフレット・ポスターによる情報発信 ・中野労働基準監督署との連携(動画・リーフレット・ポスターの活用) ・各市町村において、事例集・リーフレット・ポスター・動画の活用 ・ケーブルテレビでの放映 ・イベント時に動画、アンカー設置補助金等の補助制度の紹介 等 イ 今後の事業展開の検討 ・先進事例の収集等 (3) 市町村との連携 ・市町村の事故防止の取組みについての情報共有 ・安全対策啓発方法の検討・意見交換							
	事業期間	令和5年11月 ~ 令和6年3月							
事業費等	(単位:円)								
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考		
	除雪作業の安全対策普及事業		除雪作業の安全対策講習会の開催及び雪下ろし安全対策にかかるポスター、リーフレットの作成・情報発信		53,663		講師謝金37,800 (@3,150×3h×4人) 旅費15,863 (4,471 (鬼無里～飯山市往復)×1回×3名、1,644 (須賀川地区～飯山駅往復) 2,450 (須賀川～飯山)×1回)		
	合計				53,663				
指標及び達成状況	成果指標			目標値		成果		達成状況	
	R5シーズン除雪作業中の事故件数			21件未満		24件		○ 達成	
	雪下ろし情報交換会満足度(5点満点)4点以上の割合			6割以上		46%		○ 一部達成	
								● 未達成	
事業実績・成果	<講習会> ・除雪作業の安全対策を図るため、市町村と意見交換をしたうえで情報交換会を実施(12/9開催、15名が参加)。 ・村の除雪支援体制や雪下ろし時の注意点を講師から紹介した。また、除雪支援員同士が今後の活動に活かすために、除雪中に気を付けていることや困っていること等を共有した。 ・実際の事故事例を知れたことや、普段交流のない支援員間での意見交換ができたことを評価され、アンケートでは4点満点平均3.464点の満足度だった。(目標値設定時は5点満点のアンケートを想定していた所、4点満点のアンケートを実施し、3点を付けた回答については含めずに成果を測定したため未達成となっているが、概ね満足度は高かった。) ・一方で、参加者が除雪支援員のみであることに対して、参加者から「安全対策についてもっと広く周知して欲しい」という意見が多くあった。 <啓発・情報発信> ・除雪作業時の安全対策啓発ポスター、リーフレットの増刷および配布。(リーフレット650部、ポスター13部 市町村等に配布) ・雪下ろし安全対策啓発動画の放送(管内4局で放送)。								
今後の方向性	雪下ろし支援員が実際には雪下ろし作業を行わなくなっている現状を踏まえ、啓発のための講習会のあり方を検討する。ポスター等の安全啓発は引き続き行っていく。								